石狩市浜益区
地域協議会広報

浜地協だより

《発行》浜益区
地域協議会事務局
〈支所地域振興課〉
Tel 79-2029

［VOL146］

令和元年度　第4回
浜益区地域協議会

【と　き】令和元年9月17日(火)
18:30～19:50
【ところ】浜益支所　2階　庁議室
【委　員】〈出席〉　9名　〈欠席〉　6名
【傍　聴】　0名

・会議の概要を掲載しています。
・詳細は、市ホームページで後日公開します。

当日は、協議事項一件について、了承されるとともに、その他事項で二件の情報提供がありました。主な内容については、次のとおりです。

①第七期地域協議会の総括について

協議事項

前回の会議で各委員から提出のあった振り返りの意見等に基づき、事務局で作成した資料の項目ごとに意見交換を行い、総括したうえ、第8期への引継ぎ事項を決定しました。

【第七期の振り返り】

一地域づくりを進めることについて

○地域づくりは、行政・民間の両面から模索する必要があります。特に、民間の横のつながりを強めていくと広がりが出てくると思います。

○高齢化や人口減少により、地域住民がどこまでできるのか見極めが大事で、支所が中心となって地域づくりを進めることも大切です。

○高齢化が進み、若い人が少なくなったことにより、各団体の活動自体も大変なことが多いのではないでしょうか。

○地域づくりを検討するうえで、制度や予算など細かい説明が不足しているので、支所の積極的なコーディネートを期待します。

二地域協議会の役割について

○市からの情報を的確に入手し、地域住民に知らせるよう整理する必要があります。

○支所と地域住民との「パイプ役」として議論を進めていけると良いと思います。

○地域の情報や思いを市長に伝える大切な役目を担っています。

（会議の進め方への意見）

○会議で一人ひとりが活発に自由な意見交換ができる場づくりが必要ではないでしょうか。

○要望、陳情、批判はダメ、という考えが議論を深められない要因となっているのではないでしょうか。

三地域自治区振興事業について

○観光客（リピーター）を多く呼び寄せることが大切ではないでしょうか。

○合宿所（スポーツ、勉強、学級レク、宿泊学習等）の整備が必要なのではないでしょうか。

○成果は出ているので、継続が必要なのではないでしょうか。

○農業や漁業振興など本来行政が担うものと基金を活用するものとを明確にする必要があるのではないでしょうか。

四これからの地域づくりに必要と思うことについて

○高齢化が進んでいることから、今より少しでも安心して暮らせる環境づくりが必要ではないでしょうか。

○区外からの人の流れを作ることが必要ではないでしょうか。

○各地区の声が伝わりやすくするために「地域コーディネーター」等の配置が必要ではないでしょうか。

○地域振興等のアイディアを実現する筋道など、深堀りした提案が必要ではないでしょうか。

五その他

○地域協議会で楽しく交流、議論できる環境ができることを期待します。

○農家や漁師の皆さん、商店や食堂の皆さん、高齢者や障がいを持つ方々、母親など、色々な声を取り入れられる地域協議会でありたいと思います。

【第八期への引継ぎ事項】

○地域協議会と支所は、浜益区のまちづくりを推進する両輪となって、多くの地域の声を拾い上げていく組織として活動を続ける。

○地域振興等のアイディアを実現可能なものにしていくために、区内の各種団体からの活動報告を受けながら、連携や意見交換の場を増やしていく。

○旧適沢コミセン「カフェ・ガル」については、民間利用も視野に、早急に具体的な活用方法を見出していく。

○その他の地域課題の解決にあたっても、民間力の積極的な活用を検討していく。

○地域協議会の会議は、誰にでも分かり易い説明内容となるよう心掛けるとともに、委員からの話題提供の時間等、気軽に話しやすい雰囲気づくりに努める。

○会議での疑問や確認したい

事項等は、関連情報やその後の状況など、市からこまめな情報提供を行ってもらい、委員全体の情報共有に努める。

その他事項

①地域の魅力発信！移住交流フェアへの参加について

【内容】浜益支所地域振興課から情報提供しました。

六月の第二回地域協議会で確認いただいた次年度以降の地域おこし協力隊員の拡充、増員に向けて、地域協議会、農業者、漁業者の協力を得ながら、協力隊の招致活動に取り組みたいと思っています。

一一月一七日に横浜で「地域の魅力発信！移住交流フェア」が開催され、申し込んだところ参加が認められ、支所職員が随行し、柿岡隊員、漁協青年部、農業者の若手など参加したいと思っています。

来場予定者は、三、〇〇〇人くらいと聞いています。主催は、地域おこし協力隊を担当している総務省であり、大きな交流フェアであることから、地域おこし協力隊を募集したい自治体が全国から集まり、色々な方々とお話をする一一フェアとなっています。時から一七時までの六時間、地域のどのようなことを頑張りたいのか、どのようなお思いを確認しないが、交流をしたいと思っています。

具体的な人選は、事務局で各団体の代表などと相談しながら、決定したいと思っています。

②JICAキャリアフェアの参加報告について

【内容】浜益支所地域振興課及び地域おこし協力隊員から情報提供しました。

八月二七日に東京でJICA（青年海外協力隊）での二年間の派遣を終えて帰国した七〇人位の報告会に参加し、面談、交流をしてきました。

一一の自治体、まちづくりに関する七団体が参加していました。はじめに、三会場に分かれ、一五分ずつ、グループ、ブースごとにお話をさせていただき、五〇人程とご挨拶、名刺を渡すことができました。その後、大きな会場に移動して自由交流となりました。

たが、ここで再度、興味を持っていただいた方が来てくれて、一一人の方と名刺交換できました。その中には、ウニの養殖に興味のある方、潜水士の免許を持っている方、海に潜り生態系を調べたい方、海ドローンを飛ばしたい方などがいました。

青年海外協力隊員は、ボランティア活動で、発展途上国で活動されている方がメインであり、過疎地よりもっと厳しい環境で生活をされている方が多かったなかったと思っています。直接、次期地域おこし協力隊との感じではありませんでしたが、これから徐々に交流を深め、何かのきっかけで次世代の協力隊につながればいいと感じました。

参加者のうち、神奈川県に住んでいる方に一一月一七日に浜益の農業、漁業で頑張っている方も参加するので、まだ来場してほしいと伝えました。名刺交換したい一一人にはメール等で情報提供したいと思っています。

ドローンの技術を活かし、浜益で活動したいとの提案があれば、まちづくりにどう活かせられるのかということにつながるので、交流を深めていきたいと思います。

＜おくやみ＞

氏　名	死亡年月日	年齢	住所
堀内　みち さん	R元. 8.30	89	千代志別
山本　守 さん	R元. 9.13	96	川下

浜益区の人口・世帯数（R元年8月末現在）

人口（人）	【58,257】 1,267	〈▲ 51〉 〈▲ 11〉
男（人）	【28,133〕 575	〈▲ 13〉 〈▲ 7〉
女（人）	【30,124】 692	〈▲ 38〉 〈▲ 4〉
世帯数（戸）	【27,796】 761	〈11〉 〈▲ 3〉

※上段の【　】は石狩市全体、〈　〉は対前月

第36回　浜益ふるさと祭り(9/15)